

平成 27 年 6 月 17 日に西村市政の 2 期目がスタートし、3 年が経過しました。「5 万人都市再生」という大きな目標を掲げ、まちづくりに取り組んできました。その結果、転入と転出の差である社会的増減について、平成 18 年の 433 人減をピークに約 300 人減で推移していたものが、平成 28 年は 93 人減、昨年度は 21 人減と減少にブレーキがかかっています。子育て支援施策や住宅整備、住宅補助など、これまで実施してきたさまざまな人口増への取り組みが、ようやく成果となり数字となって現れてきています。この 1 年間、どのような取り組みが行われてきたのか、主なものを紹介します。

●市制 50 周年を迎えて

昨年、加西市は市制 50 周年を迎えました。4 月 29 日には市民会館文化ホールにて、記念式典を開催し、また「NHK 夏期巡回ラジオ体操」、「NHK のど自慢」、「忠臣蔵サミット」、「ドリームベースボール」など年間を通じてさまざまな記念事業を実施しました。この 50 年という節目を市民皆で祝うとともに、その軌跡を振り返り、今後も加西市民が心をひとつにし、共に力を合わせて加西市のよりよい未来を創っていくという思いを、多くの方々と共有することができました。



昨年 4 月に開催された市制 50 周年記念式典

●鵜野飛行場跡地周辺整備『歴史遺産の多様な活用』

鵜野飛行場跡地および周辺の戦争遺産を一体として観光整備し、市内外の観光客と地域住民の交流の場を創出するため、都市再生整備計画に基づき、防空壕・機銃座等の歴史遺産整備を進めています。

4 月には備蓄倉庫の建設も始まり、「歴史と平和を継承するまち」の拠点施設として、「(仮称) 加西市鵜野ミュージアム」の整備に向けた計画を推進します。郷土の歴史や文化を活用し、加西の知名度を上げるとともに、市民に向けて、郷土に対する愛着や誇りを育む取組を進めます。



市制 50 周年記念事業「ドリームベースボール」

●加西インターチェンジ周辺開発『産業団地の創出』

新産業団地整備事業は、造成と同時に企業立地も決定していることを目指した事業となるよう取り組んでいます。課題である事業用地の確保については、産業団地関係町および地権者の方との合意形成を早期にまとめ、事業が順調に進められるように取り組んでいます。今後は、工業、商業、農業をバランスよく整備することで、新たな雇用機会や定住を生み出すまちづくりを進めます。



賀茂小学校で開催した「NHK 夏期巡回ラジオ体操」

●歴史・文化を生かしたまちづくり『北条旧市街地の活性化』

北条旧市街地のにぎわいづくりとまちなか居住の推進のため、空き家・空き店舗を活用した交流や起業支援の場づくりを進めています。

昨年度、北条旧市街地元気なまち再生事業で改修を行った旧柏原春陽堂が複合的な機能を持つ「地域交流広場」まちなか春陽堂」として、旧原田松栄堂がソーシャルキッチン・カフェ「O cha no Ma (おちゃのま)」としてオープンしました。今後も北条旧市街地のにぎわいづくりを通して移住・定住を促進していきます。



多くの方でにぎわう「まちなか春陽堂(旧柏原春陽堂)」

平成29年度ふるさと納税額は 6億3千万円

問合せ／きてみて住んで課 ☎42-8764
fax43-1802 kiteka@city.kasai.lg.jp

加西市出身の方をはじめ、加西市を応援したいという全国の皆さまからの温かいご支援により、平成 29 年度も前年度を上回る 15,522 件、6 億 2,923 万円のふるさと納税をいただきました。皆さまからの寄附金は、市が進める子育て支援などさまざまな施策のために大切にに使わせていただきました。

●年度別ふるさと納税の受入推移



購入図書で読書する児童

●主な寄附金活用事業

事業名	充当額	事業内容
子育て支援・教育環境整備	1 億 5,637 万円	中学校・特別支援学校プール改修工事、遊具補修、図書や絵本の購入
地域医療支援	5,380 万円	市立加西病院の支援
地域振興等	2,590 万円	気球イベント・トライアスロン大会、公共交通政策事業、ふるさとハローワーク運営事業
ふるさと創造	1,080 万円	市制 50 周年事業、ふるさと創造会議の支援
観光資源・歴史遺産の保存や活用	1,654 万円	歴史遺産修理、交流のまちづくり促進事業（鵜野飛行場関係事業）
環境保全・生活基盤整備	870 万円	バイオマストイレ設置事業、里山整備

加西市飯盛野土地改良区115年の歴史に幕

問合せ／加古川西部土地改良区
☎49-0915 fax49-0916

北播地区を中心に農業用水の供給などを担う「加古川西部土地改良区」と、加西市内を流れる一級河川万願寺川で疏水事業を進めてきた「加西市飯盛野土地改良区」の合併契約調印式が、5 月 24 日に市民会館小ホールで関係者 60 名が参加され行われました。来年 10 月の合併を目指します。

●加西市飯盛野土地改良区の歴史

明治 36 年(1903 年)4 月「飯盛野普通水利組合」として設立されました。区域としては、旧加西郡の九会、富合、下里の旧 3 カ村に約 400ha ありました。地形状況から用水が不便な鵜野台地の水田造成のため、殿原地先（旧在田村）の万願寺川から取水し、全長 7.1 km の導水路でため池群へ補給。さらに 2 つのため池を築造して導水貯留した用水で飯盛野の原野 400ha を潤そうとする計画を打ち出し、明治 39 年 4 月着工、翌年 3 月に第 1 期工事が終わり、暫時第 2 期の開墾が行われました。

昭和 25 年 8 月に組織変更し、兵庫県認可第 1 号である「加西市飯盛野土地改良区」が設立され、今日まで地域用水として地域の人々に親しまれ、歴史的価値が高い「飯盛野疏水」を管理されてきました。



調印式の様子



飯盛野疏水工事記念碑(鵜野町)